

平成27年度 第1回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	平成27年6月16日(火) 午後4時～午後5時40分
会場	中央公民館1階 集会室
出席者	上野会長、梅田副会長、塘委員、山田委員、中村委員、菊池委員、宮田委員、大鷲委員、高野委員、園川委員、秋山委員、長谷川委員 12名 松本教育長、須崎教育部長 榎本次長(教育部次長兼生涯学習スポーツ課長)、倉石課長(教育総務課長) 鈴木係長(生涯学習振興係長) 加藤館長(中央)、岡部館長(東)、星野館長(西)、加納館長(南)、松永館長(北)、大山館長(下蕨)、井田館長(旭町)、桑島係長(中央)、滝沢専門員(西)、川辺主任主事(北)、武田主事(南) 加藤主事(中央) <合計> 29名
欠席者	松原委員、中捨委員、小澤委員
添付資料	1、生涯学習関連職員の人事異動について 2、平成26年度 公民館事業一覧 3、平成26年度 全公民館利用状況調査(年間総合計) 4、平成27年度 当初公民館関係予算 5、平成27年度 公民館事業計画一覧(案) 6、蕨市教育振興基本計画(概要版) 7、第3次生涯学習推進計画 8、南公民館耐震工事のお知らせ
会 議 内 容	
<p><公民館運営審議会> 午後4時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 ※傍聴希望なし 2. あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・上野会長あいさつ ・松本教育長あいさつ 3. 前回議事録の承認 4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の人事異動について 資料1『生涯学習関連職員の人事異動について』に基づき、中央公民館長から説明 ・平成26年度事業報告について 資料2『平成26年度 公民館事業一覧』に基づき、中央公民館長から説明 ・利用状況調査について 資料3『平成26年度 全公民館利用状況調査(年間総合計)』に基づき、 	

中央公民館長から説明

委員：公民館利用団体数は年々減少している。地域活性化の観点からこうした状況は好ましくないが、公民館はどのような支援を行っていくのか。

中央公民館長：利用団体数の減少の理由は、団体の会員数が減少していることや会員の高齢化が進んでいることが挙げられる。公開講座を行う等、会員数が増加するよう支援していく。

・平成27年度予算について

資料4『平成27年度 当初公民館関係予算』に基づき、中央公民館長から説明

委員：西公民館の改修工事が予算計上されているが、耐震工事は含まれているのか。

西公民館長：昨年度の耐震診断で耐震基準をクリアしているので、耐震工事は行わない。集会室天井の補強と給水方式を変更することに伴う工事である。

委員：西公民館と下蔵公民館については、耐震工事はこれから行うのか。

中央公民館長：西公民館は平成25年に耐震診断を行い、耐震化が担保されている。そのため、今回は耐震工事ではなく、施設の老朽化に対処するものである。耐震工事は、昭和56年以前に建てられた建物を対象としているため、平成8年に建てられた下蔵公民館は、対象外である。旭町公民館も同様である。

・公民館の耐震工事について

東公民館長から説明

南公民館長から説明

(2) 協議事項

・平成27年度事業計画について

資料5-1、5-2に基づき、各公民館長から説明

委員：常日頃から旭町公民館の企画が面白いと評判である。指定管理者とのことであるが、事業の企画は誰がどのように立てているのか。

旭町公民館長：指定管理者の職員が担当している。

委員：妻が読み聞かせサークルてんとう虫の会で、先日も旭町公民館の職員から声がかかり事業に協力した。「涙活」という事業で涙を流すと心が晴れるという趣旨の事業はユニークだと思った。

委員：南公民館の自然に親しむ会に参加している。植物を見ながらゆっくり散策するので、高齢者の方からも好評のようだ。ただ、

募集人員が限られて受付時には行列ができてしまう。

南公民館長：市民スタッフに支えられている事業で、小型のバスのため、たくさんの方を募集することはできない。バス代や高速料金も参加費で賄っているため、ご好評をいただいているが、そうした点が悩ましいところである。今年も秋に2回目を予定しているが、工夫しながら実施していきたい。

会 長：好評な事業は、参加した人たちでクラブを作って継続した事業にしていく。同じ人が毎回参加していくことは公民館事業の趣旨とは違ってくる。講座から自主団体への移行ということも考えたらどうか。それがたくさんの方に喜んでもらえ、公民館活動を広げていくことになる。

委 員：“地域の方が教えていく”という報告が東公民館長からあった。とても良いことであると思う。ある会では、子どもたちに科学の楽しさを教えていきたいという希望があり、その場所を求めている。教えていきたい人や団体が、地域で活躍できる場を設けて育ててほしい。団体が活躍することによって、ボランティアも喜んでもらえるし、異世代交流を図ることができる。また西公民館から報告のあった、詩吟クラブが会員増を図るために公民館と一緒に公開講座を開くという事業もよいと思った。公民館が団体の気持ちにそって、団体を支えてほしい。

会 長：民の力と公の力によって、生涯学習活動が発展すればよい。この公民館運営審議会はその粘着剤でありそれぞれ活動いただいている地域の公民館で委員も力を発揮してほしい。

(3) その他

- ・隔年で開催している生涯学習活動推進事業について、7月号の広報蕨で公募委員の募集を行い、8月中には第1回目の会議を予定していきたい。また実行委員会組織は、公民館運営審議会委員を中心に各公民館で活動している方2名程度と公民館職員とで構成していきたい。
- ・添付資料『蕨市教育振興基本計画（概要版）』に基づき、教育総務課長から説明
- ・添付資料『第3次 蕨市生涯学習推進計画』に基づき、生涯学習振興係長から説明

委 員：生涯学習推進計画の中で、団体サークルへの支援という表現があるが、先日児童福祉課にガールスカウトの会員募集のチラシを置いてほしい旨の依頼に伺ったが、断られてしまった。団体への支援について、どのように考えているのか。会としてはガールスカウトの活動を保育園にも知ってほしいと思っている

中央公民館長：市長も市民との協働を掲げており、団体の活動へ支援を行っていくことは当たり前のことである。公民館を利用いただき、

チラシ配布の件であってもご相談いただきたい。また他の委員さんからもどのようにしているか、お知恵を伺ってみてはどうか。

委員：市民活動ネットワークステーションでは、チラシの配架のほかホームページでも紹介しているので、ご活用いただきたい。

会長：推進計画において協働を掲げており、ガールスカウトは青少年団体連絡協議会にも加入している。また海外の話であるが、ボーイスカウトのメンバーが人命救助に活躍したということもあり、子どもたちの青少年健全育成の面からも素晴らしい活動をしている。そのような方々の活動をこれからもご支援いただきたい。

委員：蕨市のホームページは、公民館ごとに検索しないと事業が出てこないの、学習情報をクリックすれば一覧で見られるなど工夫が必要ではないか。

教育部次長：市のホームページは全庁的に統一した作りになっており、教育委員会だけで変えることはできないので、市役所内でホームページについて検討する機会があれば、投げ掛けていきたい。

会長：それぞれ部署が異なるため、縦の組織を横糸でつなげていくことがキーポイントである。この公民館運営審議会には、それぞれの団体の代表者が委嘱を受けており、公民館と連携しながら、手探りで活動している団体の力になっていただきたい。

委員：学びのきっかけづくりとして、チラシやホームページなどいろいろあるが、効果のあるツールは何だったのかを検討することも大事であり、一般的には口コミといわれている。また事業を行う際、ターゲットは誰なのか定めていないと、よいアクションはとれない。どんな周知方法が有効だったのか、また、それは対象にあっていった方法だったのかを、対象者にアンケートをとってみてはどうか。

会長：この会議は公民館運営審議会であるので、公民館とコンタクトをとって、活動を発展していただきたい。

5. 閉会 副会長挨拶